

# 講師紹介 および 講義の概要

## 安藤 将孝 氏

経歴：

2010年3月 広島大学医学部保健学科 卒業

2018年3月 大分大学大学院工学研究科博士課程前期課程 卒業

2010年4月 大分岡病院 入職

2017年3月 大分リハビリテーション病院 入職

現在に至る

資格：

認定理学療法士（運動器），修士（工学）

現在，回復期と外来にて主に運動器疾患の症例を担当しています。大腿骨近位部骨折術後，圧迫骨折後，人工関節置換術後の症例が多いです。

### 講義の概要：

大腿骨近位部骨折は高齢者人口の増加に伴い，今後も増加することが予測されており，臨床でも診療で携わることの多い疾患です。骨折型や術式によるリスク管理や予後などに関して先行研究を踏まえながら，理学療法を実施する際のポイントをお伝えします。また，症例を通して画像などの検査データから病態を適切に捉え理学療法評価・プログラムを立案する流れを解説させていただきます。

## 佐藤 雄太 氏

経歴：

2012年3月 藤華医療技術専門学校 卒業

2012年4月 大分中村病院 入職

現在に至る

資格：

認定理学療法士（循環），心臓リハビリテーション指導士

現在，急性期から回復期（地域包括ケア病棟）にて運動器疾患（椎体骨折・橈骨遠位端骨折・大腿骨頸部骨折など）の患者さんを担当しています。

### 講義概要：

上腕骨近位部骨折について症例を通じて画像をみるポイント，治療方針ごとのリスク管理，リハビリテーションを行う上でのコツをお伝えします。また，肩の解剖学・運動学についても話をさせていただきます。